

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理総論Ⅹ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 木曜3限	教室名	5校舎9階
担 当 教 員	小川正子	実務経験とその関連資格	医療法人杏嶺会上林記念病院心理療法科で心理士として勤務、カウンセリングや心理検査業務に従事した。色彩福祉士、公認心理師取得。			
《授業科目における学習内容》						
色彩福祉検定受験向けて、検定対策を行う。また、色彩を用いた福祉住環境計画や色覚バリアフリーなど、色彩を福祉の現場でどのように用いることができるのか事例を通して学ぶ。さらに自分でも色彩計画を考えることができるようになることを期待する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70%、出席評価点20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等)10%とし、優80点以上、良70点～79点、可60点～69点、不可59点以下と評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
使用テキスト「色彩福祉検定®3級公式テキスト」						
《授業外における学習方法》						
洋服や空間を見るときに、色彩に注目してみましょう。配色や色彩調和の実際を体験してください。						
《履修に当たっての留意点》						
色彩福祉検定3級合格目指して、頑張りましょう。 色彩にどんな意味があるのかくみ取りましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬問題を解くことができる。		教科書	前期授業の振り返りをしておくこと。特に色彩試験について。
		各コマにおける授業予定	前期の復習として「色彩理論」色をみる仕組みと色彩の意味、心理的效果について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	色と香りの名称を結びつけることができる。		教科書 アロマエッセンシャルオイル	テキストの「色彩と香りの演出効果」を読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「色と香り」色彩のイメージと結びついた香り(エッセンシャルオイル)について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	色彩交流法の特徴を説明することができ、模擬問題を解くことができる。		教科書 色鉛筆	色彩から連想されるものについて教科書で確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩福祉の実践」色彩交流法について学び、体験する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	色彩とインテリアに関する模擬問題を解くことができる。		教科書	教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩福祉の活動」空間や装いの中にどのように色彩を用いることができるか、色彩によるインテリアの安全性について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	予想合格ラインの50%以上の得点を取得できる。		模擬問題	模擬問題を行うので、これまでの内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	「模擬試験」			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	予想合格ラインの60%の点数を取得できる。	模擬問題	これまでの模擬問題を復習すること。
		各コマにおける授業予定	「模擬試験」		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	予想合格ラインに到達する。	模擬問題	これまでの模擬問題を復習し、できないところを明確にして授業に臨むこと。
		各コマにおける授業予定	「模擬試験」		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	色覚バリアフリー、ユニバーサルデザインについて、具体的な事例を挙げることができる。	教科書 PPT	本試験(検定)の出題傾向を振り返ること。
		各コマにおける授業予定	「色の知覚と心理効果①」色覚バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉住環境における色彩の意義について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	色彩の応用例を挙げることができる。図表作成に活かす。	教科書 PPT	色彩や視知覚を用いた実践例について調べておく。
		各コマにおける授業予定	「色の知覚と心理効果②」”見やすか”の実践例を紹介する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	合う配色を考えて選ぶことができる。	教科書 PPT	同系・類系・反対色相と色調を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	「パーソナルカラー」色彩の応用として、パーソナルカラーの概念、配色、印象について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	エリクソンの心理社会的発達課題と危機を説明することができる。	教科書 PPT	他の心理系科目で学習した発達の過程等を見直しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩福祉と心の理解①」色彩福祉を生活や臨床で使うために、子どもから高齢者の心理的特徴について概説する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の働きに関する模擬問題を解くことができる。	教科書 PPT	1年次に学んだ、特に学習理論やパーソナリティ理論について見直しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩福祉と心の理解②」心の働きとして、アタッチメント、パーソナリティ、学習、終末期について、学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害と認知症に関する模擬問題を解くことができる。	教科書 PPT	臨床心理学等で学んだ発達障害と認知症について見直しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「発達と色彩福祉」子どもの色彩による発達支援、高齢者の認知・行動特徴にあわせた色彩による支援について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	色彩交流法の1つを説明しながら実施することができる。	教科書 色福カード 色彩福祉に関する教材	教科書の該当箇所を読み、方法を予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩と福祉」さまざまな色彩交流法をロールプレイを通して学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	色相環、色調図、アンダートーンを書くことができる。	教科書 PPT 模擬問題	教科書の該当箇所を読み、予習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「色彩理論・まとめ」色相環、色調、配色調和、アンダートーンについてまとめる。		